



伊藤 秀樹さん  
(株)清川屋代表取締役社長

#### プロフィール

1956年生まれ。  
学習院大学経済学部卒業。  
平成9年に(株)清川屋代表取締役社長に就任し、本格的なネット販売に参入。  
特産品の企画・販売に独自性を発揮し、販売成果を上げ、平成14年度「ゆとり都山形イノベーション大賞」を受賞。  
昨年2月には世界最大のITショッピング「楽天市場」において26万グルメアイテムの中から選ばれる「グルメ大賞」の1位〜3位トリプル受賞を成し遂げた。



## 「新たなIT時代の到来」

昨年いただいた『グルメ大賞』は、山形県の素晴らしい商品・食材が、全国の皆様に認知いただくことができたという点で大変意義深い受賞であり、これも山形県民の皆様が故郷を心から愛し、豊かな自然や食材を、苦勞を重ね地道に育てて下さったお陰と、心より感謝申し上げます。

昨年プロ野球新規参入問題でもIT企業が大変話題となりました。「楽天」や「ライブドア」そして「ソフトバンク」と、実業界の中でも最も変化しづらいプロ野球界において、創業10年に満たないIT企業が加入する流れは、まさに激動の時代の変化を象徴した出来事ではなかったかと思えます。これからますますインターネットが普及し、我々一般市民の生活においてもいたるところでITデジタル化が加速度的に進むものと思えます。

一方、そんな時代だからこそ、山形の自然や風土、歴史、そして地域の価値そのものを見つめ直し、アナログの良さである人と人の心が通いあう温かい地域づくりが大切になってくるのではないかと考えております。そこに、デジタルとアナログが融合する新しい社会的価値が見出され、さらにその中に地域の良さを導き出す無限のビジネスチャンスが到来しているように思えてなりません。

これからも県内各店舗やインターネットを通じて、山形の素晴らしい魅力を情報発信させていただき、より多くの方が山形に来県されることにより、より元気で活力ある山形になっていくよう、県民の皆様とともに、精一杯努力させていただきたいと存じます。

# 新・春・特・別・寄・稿

「山形」の元気・活力を全国に発信しながら活躍しているお二人。

平成17年の新春を迎え、今年の抱負や「山形」への思いを寄せていただきました。

## 「苦節十年」

しばしば指摘されるところ、山形県人は自己宣伝が下手だと。あるいは不器用だというべきか。いずれにせよ作家という、これも一種の人気商売に携われれば、我ながら多分に洩れないなあと思えることがある。うまく話題になることで、ばんばん本を売っていく同業者を横目にすれば、悔しく思わないでもない。が、そんなとき、私は自分に言い聞かせることにしている。おまえは苦節十年、二十年で報われるタイプなのだからと。歌手に例えれば、演歌歌手のようなものなのだからと。

実際のところ、受け入れられ方が似ている気がする。純文学はクラシックだ。エンターテインメントの分野でいえば、恋愛小説はポップス、推理小説はロックというところで、ふたつながら一番の売れ筋である。ちょっとしたきっかけで、みる間にミリオンセラーになるところも同じだ。してみると、歴史小説は演歌なのだ。いくら褒められたとしても、馬鹿売れはしない。ろくろく話題にもならない。が、それも苦節十年、二十年と、長く続ければどうか。最後には大輪の花が咲く。それが証拠に国民的歌手は、演歌の北島三郎ではないか。国民的作家は、歴史小説の司馬遼太郎ではないか。そうなることを夢みながら、だから私は苦節十年の方向で行くことに決めたのだ。器用な処世はできないが、中身には自信があるというならば、また山形県も徒な功名に逸れることなく、演歌の花道を進むべきだと思うのだが、いかがだろうか。



佐藤 賢一さん  
作家

#### プロフィール

1968年生まれ。  
山形大学卒業後、東北大学大学院でヨーロッパ中世史を専攻、西洋歴史小説を書き始める。  
平成5年に『ジャガーになった男』で小説する新人賞を受賞し、作家デビュー。  
平成11年に『王妃の離婚』で直木賞を受賞。  
現在は地元鶴岡で執筆活動中。  
著書はほかに『カルチュ・ラタン』『二人のガスコン』『双頭の鷲』など。



# 県民のあゆみ



気合を入れながら、「剣舞」に励む山形剣聖会滝山剣詩舞愛好会の皆さん。

## 延ばせ！健康寿命

さあ、自分のために健康づくりを始めましょう！

新しい年がスタートしました。皆さん思い思いに新年の抱負を胸に抱いていることでしょう。しかし、何といっても基本は「健康」です。生活習慣病が増加する現代、「健康」に対する意識や関心はますます高まっています。

ところで「健康寿命」という言葉をご存知でしょうか。寝たきりにならず、自立して健康に過ごせる人生の長さのことをいいますが、長寿高齢化が進む中で自分の人生を豊かにいきいきと過ごすためにも、私たちは自分の意思で健康寿命を延ばす努力をしなければなりません。まずは、一人一人が生活を見つめ直し、自分の健康は自分で守り、より高い健康の実現をめざして「健康づくり」を始めましょう。

県では、皆さん一人ひとりの健康づくりを支援するため、行動計画「健康文化やまがた21」を平成12年度に策定し、10年間の長期プロジェクトとして展開しています。今年度は、これまでの達成度を測るため、「県民健康・栄養調査」を県民約1万人を対象に実施し、来年度に計画の中間評価を行います。

「健康文化やまがた21」に関する問い合わせ 保健業務課 ☎023(630)2313

#### （ひと言メッセージ）



NPO日本健康運動指導士会山形県支部長  
鈴木 勝義さん

健康を維持するために「運動をしたほうが良い」時代は過ぎ、いまや活き活きとした自分であるためには「運動しなければならない」という時代に突入しています。運動は自分の気持ちや体調、目的に合わせて行うことが大切。それに加え、ただ走るだけで笑顔になる子どものように、体を動かす気持ち良さで笑顔があふれると、とてもうれしいですね。私共の会は、そのために役に立ちたいとの願いから、健康運動指導士と健康運動実践指導者により設立されました。皆様の「健康」を運動や栄養・休養の面から支援するため、生活習慣病、関節痛、介護予防などのための運動教室や講話を実施しています。依頼があれば直ちに指導士の派遣・紹介をいたしますので、ぜひご活用下さい。

連絡先 ☎0235(64)2143[藤島町民体育館]

1月  
January  
No.509

毎月1日発行  
編集発行／山形県総務課広報室  
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号  
☎023(630)2089

#### 具体的な取り組み

##### 栄養・食生活

バランスのよい食事による健康づくりに役立ててもらうため、外食メニューにカロリーや脂肪分、塩分などを表示する外食栄養成分表示を県栄養士会等と協力しながら推進しています。



##### たばこ

非喫煙者が他人のたばこの煙を吸ってしまう受動喫煙の防止対策に取り組んでいます。

敷地内禁煙・施設内禁煙・喫煙室設置等の実施状況(16年4月)

■県管理施設  
平成15年度 19施設 ▶16年度 61施設  
(3.2倍に増加)  
■県内の幼稚園・小・中・高・特殊学校  
全674施設中 584施設(87%)

また、禁煙したい方を支援、協力してくれる医療機関の一覧や喫煙が及ぼす健康への影響などの情報を県ホームページに掲載しています。

##### がん

女性の罹患率第1位を占める乳がんのマンモグラフィ(乳房X線検査装置)検査が40歳以上の女性に平成17年度から原則実施されるよう実施要領を定めました。引き続き、自己検診の重要性についても啓発していきます。

「健康づくり実践事例」を  
県ホームページで紹介しています。

#### 一例紹介

山形市健康づくり運動普及推進協議会

山形市民の健康づくりを支援するために平成5年に設立されたボランティア組織です。「健康づくりのための運動」を普及していく案内役として、公民館等を拠点に活動しています。





## 17年度入学者募集

### 県立米沢女子短期大学

- ◆出願期間 1月17日(月)～31日(月)
- ◆試験日 2月16日(水)
- ◆試験会場 米沢会場(本学)、庄内会場(鶴岡市中央公民館)、仙台会場(河合塾文理)
- ◆募集人員 国語国文学科50人、英語英文学科30人、日本史学科30人、社会情報学科30人、健康栄養学科28人
- ◆募集対象 17年度大学入試センター試験を受験した者

問合 同短大教務学生課 ☎0238(22)7330

## 催し物

### 県立博物館「館蔵品展」

- 整理が終了した資料群の紹介や話題性のある新収蔵品・寄贈品など、これまで未公開の資料等を展示します。
  - ◆期間 1月15日(土)～3月13日(日)
  - ◆展示内容 珍しい岩石・鉱物、最近確認された植物、昆虫類標本、縄文土器、柴崎家文書の紹介 など
  - ◆入館料 高校生以下は無料、一般は300円
- 問合 同館 ☎023(645)1111

### 防災フォーラム

- 新潟県中越地震の経験から、災害への日頃の「備え」の重要性が改めて指摘されています。防災・減災について学習してみませんか。
  - ◆日時 1月20日(木)午後1時30分～3時30分
  - ◆場所 置賜総合文化センター(米沢市)
  - ◆内容 講演「地震災害と減災について」(まちづくり計画研究所所長 渡辺実氏)
- 問合 消防防災課 ☎023(630)2231

## お知らせ

### 山形自動車道寒河江サービスエリア ETC専用インターチェンジが3月末まで利用できます

- 寒河江SAにETC専用の仮出入口が実験的に設置されました。実験期間中はETC搭載車に限り高速道路への出入が可能です。
  - ◆実験期間 3月31日(木)まで
  - ◆利用時間 午前7時～午後8時
  - ◆ご注意 ①牽引車は利用できません。②料金所では必ず一旦停車してください。
  - ◆通行料金 寒河江SA仮出入口から(例・普通車の場合) 西川 450円、寒河江 250円、山形蔵王 700円
- 問合 交通基盤課 ☎023(630)2703

### むらやま融雪商品モデル展示場

- 村山地域で独自開発された融雪関連商品を展示し、融雪性能、設置経費、ランニングコスト等の情報を提供しています。購入の際の参考にはいかがでしょうか。
  - ◆開設期間 2月28日(月)まで
  - ◆場所 県中央畜保健衛生所敷地内(山形市漆山)
  - ◆展示商品 屋根融雪装置、ロードヒーティング、融雪マット 計10商品
- 問合 村山総合支庁産業企画室 ☎023(623)8433

### 2005年農林業センサスにご協力ください

- 農林水産省では、2月1日現在で、「2005年農林業センサス(統計調査)」を実施します。この調査は、わが国の農林業・農山村地域の今の実態を明らかにし、今後の農林業の政策に役立てるための非常に重要な調査で、5年に1度全国一斉に行うものです。統計調査員が調査票の記入のため、全ての農林業関係者の方々を訪問します。
  - 調査票に記入された事項につきましては、統計以外の目的に使用することはありません。
  - ◆調査依頼 1月中旬～
  - ◆調査日 2月1日(火)
- 問合 統計企画課 ☎023(630)2809

### 山形の家づくり利子補給制度

- 耐久性の高い住宅と県産材を使用した住宅を建設される方に、県内の金融機関の協力を得て住宅ローンに利子補給を行います。
  - ◆募集戸数 100戸
  - ◆受付期間 2月1日(火)～10日(木)
- 申込みが100戸を超えた場合は公開抽選を行います。
- ◆抽選日 2月18日(金)午後2時～
  - ◆抽選会場 県庁内会議室
- 耐久性かつ県産材使用木造住宅
- ◆募集戸数 100戸
  - ◆受付期間 2月1日(火)～3月31日(木)(先着順受付)
- ※申込用紙・パンフレット等は各総合支庁建築課(分庁舎含む)に用意してあります。
- 問合 申込 建築住宅課 ☎023(630)2641

### 木造住宅の簡易耐震診断(無料)を実施しています

- ◆相談窓口 各総合支庁建築課(分庁舎含む)、すまい情報センター(霞城セントラル22F) ☎023(647)0780
  - ※住宅の図面もしくは間取りを書いたものをお持ちください。
- 問合 建築住宅課 ☎023(630)2433

### 児童・障害児(者)に関する各種手当のお知らせ

#### ①児童手当

- ◆対象 小学校第3学年までの子どもを育てている方
- ◆支給月額 第1子および第2子 5,000円 第3子以降 10,000円

#### ②児童扶養手当

- ◆対象 母子家庭の母親(父母ともにいない場合は、親に代わって育てている方)
- ◆支給期間 子どもが18歳に達した年度末まで
- ◆支給月額

|      | 児童1人           | 児童2人            | 児童3人以上        |
|------|----------------|-----------------|---------------|
| 全部支給 | 41,880円        | 46,880円         | 1人につき3,000円加算 |
| 一部支給 | 41,870円～9,880円 | 46,870円～14,880円 |               |

#### ③特別児童扶養手当

- ◆対象 重度～中度の障害を持った子どもを在宅で育てている方
- ◆支給期間 子どもが20歳に達するまで
- ◆支給月額 1級障害 50,900円 2級障害 33,900円

#### ④特別障害者手当(障害児福祉手当)

- ◆対象 重度の障害を重複して持ち、在宅で生活している方
  - ◆支給月額 障害児福祉手当(20歳未満) 14,430円 特別障害者手当(20歳以上) 26,520円
- ※いずれの手当も所得制限などの要件があります。認定を受けた場合、申請月の翌月分から支給されます。

申込 ①～③各市町村児童福祉担当課

④障害者福祉担当課

問合 ①～③児童家庭課 ☎023(630)2267

④障害福祉課 ☎023(630)3303

その一票  
未来の花を  
咲かす種



### 山形県知事選挙の投票日は1月23日(日)です。

皆さん忘れずに投票しましょう。

### 当日投票ができない方は期日前投票を！

1月7日(金)(告示日の翌日)～22日(土) 午前8時30分～午後8時

なお、山形県議会議員補欠選挙(東根市選挙区)も同日に行います。期日前投票期間 1月14日(金)～22日(土)

問合 選挙管理委員会事務局 ☎023(630)2082

## 地域話題 総合支庁だより

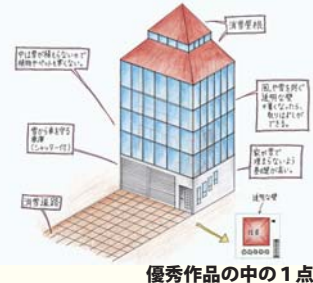
各総合支庁では総合案内窓口を設置しております。お気軽にご利用ください。  
村山:☎023(621)8288 最上:☎0233(28)1500 置賜:☎0238(26)6000 庄内:☎0235(66)2121

### 快適居住環境「雪に強い住まい」を考えてみよう

村山総合支庁では雪に強いまちづくりを進めるため、管内の市町や企業などと連携しながら、除雪、融雪、克雪など総合的な雪対策のプロジェクトを展開しています。

そのなかで、降雪期においても快適に生活できる居住環境を考え、その向上を目指す目的で克雪住宅の調査および課題などの検討を行ってきました。住宅の屋根や敷地内に積もった雪の始末をできるだけ軽減して、雪深い冬の間でも快適に過ごすことができる住まいを各家庭で考えてみよう、という趣旨です。ホームページを開設して、いくつかの克雪住宅を提案しています。

このたび「雪に強い住まい」のアイデアを公募したところ、全部で32点の応募があり、そのうち5点が優秀賞に輝き、また特別賞として2点が選ばれました。これらの作品はホームページで公開しています。皆さんも我が家のライフスタイルに応じた「雪に強い住まい」を考えてみませんか。



優秀作品の中の1点

■問い合わせ:村山総合支庁建築課 ☎023(621)8235

## 平成15年度の決算がまとまりました (その① 一般会計)

平成15年度一般会計の歳入歳出決算が11月県議会において認定されました。

県税収入の低迷、地方交付税の減額と赤字地方債の大幅な増額発行など、極めて厳しい財政状況にありましたが、将来の県勢の発展につながる次のような施策を実施しました。

#### ■平成15年度に実施した主な施策■

- 小学校における少人数学級編制(さんさんプラン)の拡充、高校生に対する奨学金制度の創設など、次代を担う人材育成の充実
- 放課後児童クラブの運営支援、子育てボランティアの養成など、安心して子育てできる環境の整備を中心とした少子化対策の充実
- 有機エレクトロニクス研究所の設立支援、新規創業・新分野進出の支援、水田畑地化による畑作物生産の振興、地産地消の推進など、本県発展の基盤となる産業の振興
- 生産から流通までの食の安全確保対策、防災対策など、安全で安心な環境づくりの推進
- 若年者就職の総合的支援、雇用を創出するための事業の実施など、雇用対策の推進

決算額は、歳入が6,381億21百万円、歳出が6,332億46百万円となり、前年度と比較すると、歳入が157億11百万円、2.4%の減、歳出が144億48百万円、2.2%の減となりました。

歳入歳出差引額は48億76百万円の黒字となり、歳入歳出差引額から平成16年度に繰り越す事業に充てる財源を控除した実質収支は25億40百万円の黒字となりました。

| 歳入 6,381億円 |     | その他 62     |       |
|------------|-----|------------|-------|
| 県税         | 諸収入 | その他        | 県債    |
| 959        | 589 | 557        | 1,144 |
| 自主財源 2,105 |     | 依存財源 4,276 |       |

(単位:億円)

| 歳出 6,332億円  |       | 衛生費 229     |     |
|-------------|-------|-------------|-----|
| 教育費         | 土木費   | 公債費         | その他 |
| 1,290       | 1,259 | 1,009       | 342 |
| 投資的経費 1,535 |       | 義務的経費 3,011 |     |
| 公共事業費 805   |       | 人件費 1,826   |     |
| 単独事業費 483   |       | 公債費 1,007   |     |

(単位:億円)

